

授業科目 評価学演習(2 運動病態学)

【担当教員名】 高木昭輝	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60 (内15: 運動病態学)

【<概要>又は<一般目標: G I O>】
講義を通じて下記の病態の講義と協議を経て実際の病態を推察し、かつ病的状態の基礎を学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標: S B O>】

- 1 筋トーンの基本と種類を学ぶ。
- 2 協調性運動について基本を学ぶ。
- 3 脳血管障害の評価を学ぶ。(Brunnström stageほか)、被核・レンズ核障害、視床障害、小脳障害ほか
- 4 頭部障害ほか

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション	基本的な評価について	1	講義・Photoshop
2	筋トーン・筋緊張と不随意運動	筋緊張について	1, 2	講義・Photoshop
3	Brunnström stage	不随意運動の病理	3	講義・Photoshop
4	協調性運動・シナジー	運動の病理(1) 病態生理	1, 2, 3	講義・Photoshop
5	末梢性神経障害と中枢神経系障害	運動の病理(2) 病態生理	1, 2, 3	講義・Photoshop
6	脳血管障害運動性半身麻痺の評価法と変遷	運動の病理(3) 運動病理	1, 2, 3	講義・Photoshop
7	病態学的動作分析	分析 分析	1, 2, 3	講義・Photoshopおよび討議
8	試験			

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	理学療法評価学[第2版]	松澤 正著	金原出版	2004年 6200円+税
	ベッドサイドの神経の診かた[第16版]	田崎義昭・他著	南山堂	2004年 7200円+税
参考書	神経学的理学療法 6ステップ臨床動作分析マニュアル		文光堂	2005年 5200円
その他の資料	その他資料は適宜配布します。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
--------	-----------

理学療法学科 専門